

広報

大槌

広報おおつち NO.596



生き生き自治会 「散歩の会」や「史跡巡り」

復興通信

私たちがつくる私たちの新しいまち～⑨造成進む盛り土宅地
産業復興だより 公共交通コラム おおつち海の勉強室

ひょうたん島日記

12

2014. 12. 5

3	活性化目指す自治会の試み 桜木町「散歩の会」 花輪田「史跡巡り」	17	保健だより
4-11	復興通信 私たちがつくる私たちの新しいまち ～⑨造成進む盛り土宅地 復興を支える人支える団体 ～金崎伊保子さん 大槌町青年団体連絡協議会 産業復興だより⑤ ～平庄株式会社 公共交通コラム④ おおつち海の勉強室⑤	18	すくすく赤ちゃん PHOTO まちかど 町長随想⑱
12-15	総務課からのお知らせ ほか	19	ひょうたん島日記
16	大槌町地域包括支援センターのページ 楽笑幸齢者になろう ほか	20-21	教育委員会だより 城山の風 第82号
		22-23	大槌町カレンダー まちのお知らせ
		24	大槌学のすゝめ⑳ 編集後記



史跡巡りに参加した花輪田地区の皆さん＝11月9日



談笑しながら散歩する桜木町地区の皆さん＝11月8日

震災後の大槌町のまちづくりでは、「コミュニティーをどう再生させ、どう活性化させていくかが大きな課題になっています。そんな中、桜木町と花輪田地区の自治会が11月上旬、住民の結束を強めようと新たな試みを始めました。「散歩の会」と「史跡巡り」です。いずれも地域復興協議会のまちづくりの論議から発案されました。

深秋に楽しむ 「散歩の会」や「史跡巡り」

～自治会の活性化めざして～

表紙の写真：桜木町自治会による「散歩の会」＝11月8日

桜木町自治会の「散歩の会」は11月8日、花輪田自治会の「史跡巡り」は11月9日にありました。

「散歩の会」では、散歩前に血圧測定と、散歩の効用を説く町役場長寿課によるミニ講義がありました。入念に準備体操をし、深まる秋の日差しを浴びながら、約60人の参加者が桜木町から白澤鹿子踊保存会館伝承館までの道のりを往復しました。途中、休憩を入れて約1時間、6千歩ほどの道のりでした。

散歩後、自治会の横山秀雄会長は「健康、親睦、それに避難路を確認する防災の目的を持った散歩でした。毎年、開催し、大きく広げていきたい」と抱負を語りました。参加した木村恵子さんは「おしゃべりしながら歩き、秋を満喫して楽しかった」と感想を述べました。

一方、花輪田自治会の「史跡巡り」には約20人が参加しました。花輪田地区には史跡が数多くあり、「隠れ岩」の伝説や、古廟山を開山した慈泉和尚の足跡が残っています。「隠れ岩」は、室町時代に関東地方で起きた

定点観測（2014年11月18日、城山から）



「永享の乱」に関連し、当時の大槌孫三郎の軍勢が南部氏の攻撃を防ぎ、古廟坂の「隠れ岩」から敵将・南部守行を弓で射た、という伝説です。また、古廟山は、江戸時代の仏教者・菊池慈泉が開山して仏道信仰の霊場とし、天災に苦しむ人たちの救済にあたったそうです。

自治会事務局長の六串信次さんが、「隠れ岩」があったとされる場所や、古廟山の開山碑を案内し、説明にあたりました。「大槌の先人の努力に敬意を表したい。郷土史を次世代に引き継いでいきたい」と六串さん。

午前中の史跡探訪を終えて、午後には野外バーベキューが行われ、自治会の会員と花輪田地区にある定住促進住宅の住民合わせて70人が参加し、親睦を深めました。自治会の三浦正幸会長は「震災後、住宅建設が進んで新しい住民が増え、一体感をどうつくっていくのが課題になっています。折に触れて交流会を開き地域を盛り上げていきたい」と話しています。

盛り土宅地ができるまで

盛り土の構成イメージ(断面図)

- 造成宅地部分には「岩ズリとまさ土の混合土」を使用します。
- 岩ズリとまさ土を混合することにより、締固めが良くなることから、より安定した盛り土となります。
- 土質試験の結果から、岩ズリとまさ土の割合は5:5としています。
- 造成宅地の一番下には岩ズリを使用します。
- 岩ズリは、宅地盛土の基盤となるとともに、排水をしやすくするために敷設します。

盛り土高さ 平均2.2m

現地盤

(図1)

盛り土材の混合方法(イメージ)

- ①等厚に敷均す
- ②ブルドーザで削りながら混合する
- ③バックホウでダンブに積み込む
- ④ダンブで盛り場まで運搬する

(図2)

盛り土の手順(敷均し、締固め)

敷均し状況

ブルドーザ

ブルドーザにて各層30cmの層厚に敷均し

転圧状況

振動ローラ

敷均し後、各層ごとに振動ローラで締固め

(図3)

宅地造成及び品質管理状況

- 宅地の品質を確保するため、以下を実施します。
- ・施工では30cmごとに敷均し、その後丹念に締固めます。
- ・出来上がった宅地は、地盤支持力を確認します。

締固め状況

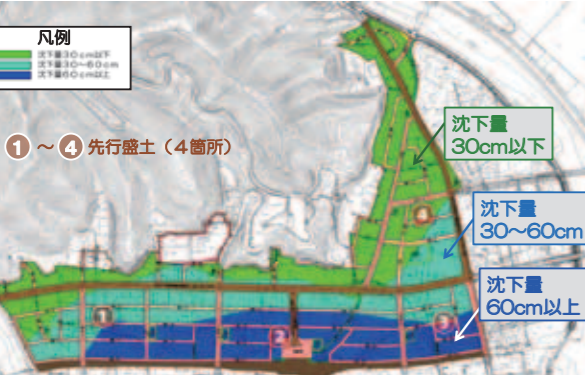
品質管理状況

支持力確認の機器

密度管理の機器

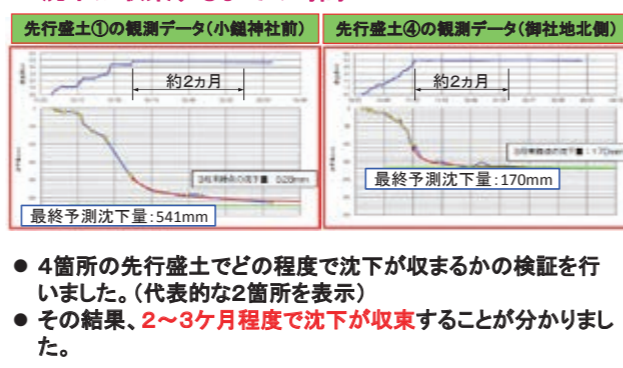
(図4)

計算による想定沈下量(範囲)



(図5)

沈下が収束するまでの時間

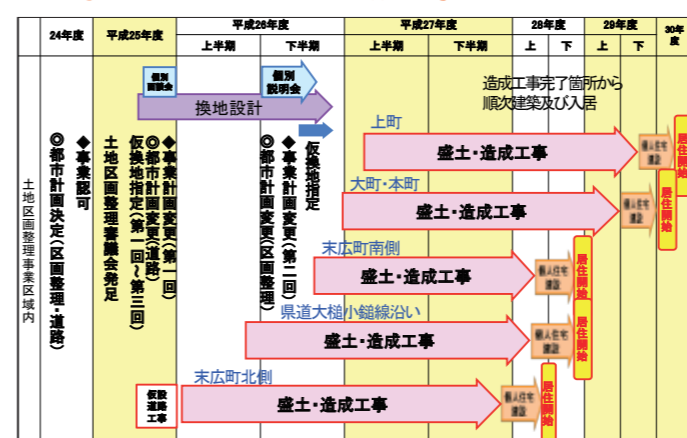


(図6)



私たちがつくる
私たちの新しいまち
~◎造成進む盛り土宅地~

町方地区の盛り土・造成工事スケジュール



品質の確保
安全で、品質が確保された盛り土宅地の造成までには、いくつかの段階があります。

まず、盛り土材です。盛り土に使

大槌町の住宅再建に深く関わる盛り土工事。現在、区画整理事業の一環として盛り土宅地の造成が進められています。盛り土宅地の品質はどのようにして確保されているのでしょうか。盛り土宅地はいつ完成し、いつから住宅が建設できるようになるのでしょうか。

町方の区画整理事業の盛り土及び基礎整備工事のスケジュールによると、最も早いのが末広町北側で、すでに工事が始まっており、平成27年度下半期に工事が終了する予定です。上町JR沿いでは、着工が平成27年度上半期で、完成は29年度上半期の予定です。

住宅建設は基礎整備工事が終了してから始まります。

確認します(図4)。締固め度は締固めの都度、密度検査が実施され、密度87パーセント以上をめざします。出来上がった宅地では、地盤支持力の検査が行われ、30kN(キロニュートン)／㎡以上になることを目指します。30kNは、木造2階建て住宅建設に必要な強度です。住宅メーカーがそれ以上の強度を求める場合は、住宅メーカーと個別に協議していただくこととなります。

盛り土は、それ自体の重さや、盛り土の上に建設する建物の重さで沈下します。町方の小籠神社前や御社地北側など、4カ所で行った先行盛り土により、沈下量は約30〜60センチメートルで、沈下は2〜3カ月程度で収束することがわかりました。そのため、町方の場合、平均2.2メートルの盛り土の上に、約1.6メートル余盛りし、沈下が進行した後で、余盛り分を撤去します。(図5、6)

盛り土宅地の造成では、品質確保のために、締固め度や地盤支持力を

わたれるのは、岩ズリと、まさ土(真砂土)との混合土です。岩を細かく砕いた岩ズリと、まさ土を交互に、同じ厚さで敷きつめ、それをブルドーザで斜めに削り取りながら混合します。岩ズリとまさ土の割合は5対5。混合土は盛り土材としてバックホウでダンブカーに積み込まれ、工事現場に運ばれます。

まさ土は、岩ズリと混合することによって締固めがよくなり、より安定した盛り土宅地になります。(図1、2、3)

宅地造成部分の一番下には岩ズリを単独で敷き、盛り土宅地の基礎になります。雨水などの排水効果が期待でき、盛り土内への地下水の浸透を防ぎます。(図1)

続いて余盛りです。

盛り土は、それ自体の重さや、盛り土の上に建設する建物の重さで沈下します。町方の小籠神社前や御社地北側など、4カ所で行った先行盛り土により、沈下量は約30〜60センチメートルで、沈下は2〜3カ月程度で収束することがわかりました。そのため、町方の場合、平均2.2メートルの盛り土の上に、約1.6メートル余盛りし、沈下が進行した後で、余盛り分を撤去します。(図5、6)

「平庄株式会社」 ～水産業の復興めざし最新鋭の食品工場～

平庄株式会社は、本社がある釜石市を拠点として水産卸売業を中心に営業しています。グループ会社は、北海道や千葉、神奈川県内にあり、全国規模で水産業に携わっています。

多くの種類の魚を取り扱っており、中でも多いのがサンマです。大槌、釜石地区では、サンマの取扱量が最多です。郵便局の「ゆうパック」で全国へサンマを直送し、好評を博しています。

東日本大震災では、本社の1階部分が全壊し、浜を支えようという意気込みで復旧を急ぎました。平成23年5月には部分操業を開始して7月には完全復旧させ、震災のその年の秋のサンマの水揚げに対応し、地域水産業の底支えに貢献しました。

平成24年には大槌町への食品工場建設を決めました。計画時、建設予定地は、まだ工場を建設できる状況ではありませんでした。しかし、大槌町の水産業を復興させたいという強い思いから建設を決定しました。

大槌食品工場は安渡地区の魚市場に近い場所に建設され、平成26年3月に操業を始めました。最新の設備が整えられ、作業場は部門ごとで区切られて衛生管理にも力が入られた最新鋭の工場です。不足気味だった従業員は徐々に増え、和気あいあいと仕事に取り組んでいます。サケの盛漁期を迎えた大槌食品工場は、これから更なる飛躍をめざします。

平庄の平野隆司社長は「今後は大槌町の工場で最終加工まで行い、刺身などの商品を生産し、加熱処理をした食品も扱っていくことにしています。また、地元メーカーとして地産加工を行い、県内外への出荷を積極的に進めて行く方針です」と抱負を述べています。



大槌食品工場でサケの加工作業を行う従業員
＝大槌町安渡

本社
〒026-0002 釜石市大平町4丁目1-25
TEL 0193-22-1097
大槌食品工場
〒028-1105 大槌町安渡3丁目226
TEL 0193-55-6056

Topics

さけます第2ふ化場が完成～2千万尾放流可能～

大槌町の秋サケ定置網漁を支える、さけますふ化場の第2ふ化場が11月11日、第1ふ化場に続いて復旧し、目標の2千万尾の稚魚を放流する体制が整いました。第2ふ化場は、自動掃除機や防鳥獣ネットを備えた最新鋭の飼育水槽が38基あり、1千万尾を生産できます。平成24年に復旧した第1ふ化場の1千万尾と合わせて2千万尾生産できる規模のふ化場が完成したことになります。この施設で育った稚魚は来春、放流され、3年～5年かけて母なる大槌川に戻ってきます。この日の竣工式では碓川豊町長が「震災の影響でサケ漁が心配されているが、2千万尾放流が可能になり、将来の水揚げが期待できる」とあいさつし、

ふ化場の指定管理者、新おおつち漁業協同組合の阿部力組合長は「大槌川、小槌川に震災前のようにサケが戻り、水産業の町・大槌の復興の原動力になるよう努力したい」と決意を語りました。



最新鋭の設備を整えた大槌町さけます第2ふ化場

おおつちさいがいエフエム
パーソナリティー
金崎伊保子さん (63)

ラジオを聞く人の心の栄養にふとラジオから耳に入る温かい大槌弁。話し手は、おおつちさいがいエフエムパーソナリティーの金崎伊保子さん(63)。担当する「しゃべってしゃべって」や「大槌の話しっこすっぺし」などが人気番組です。

震災後、知人からの「アナウンサーを募集しているからやってみたら？」の一言で始めた現在の仕事。顔見知りが多く、取材についてもあまり緊張しなかったそうです。

「初めのころは、各地域にバラバラになってしまった町内の人たちが、ラジオを通して、またつながりが出来るといいなと思っていました。また、塞ぎがちな気持ちも誰かの声を聞くことで元氣になれたらいいな、と思っていました」と金崎さんは振り返ります。

被災者それぞれ現在の状況がますます多様になっている現在の被災地。不安を抱える人の、誰にも言いえない心の奥底にあるものを拾い上げて届けたい、そして一歩でも踏み出せるきっかけになってもらえたら、という思いが強くくなっていると言います。



番組収録中の金崎伊保子さん

「この仕事を始めてうれしかったことは、スタジオで話してくださった方々が、明るい笑顔になって帰って行くことです。話すことで少しでもすっきりした気持ちになってくれるとうれしい」
震災後、他県から支援に来てくれる方々と接していろいろな考えを持つことが出来たと言います。
「これからは地方が面白くなる時代になると感じています。いい番組、というのも大事ですが、地域に密着した大槌のためのラジオで、聞く方々の心の栄養になればと思っています」と笑顔を見せました。

「復興を支える人 支える団体」

大槌町青年団体連絡協議会

若い人の背中を押す団体に

昭和50年代に、町内のそれぞれの地域にあった青年団の窓口として発足し、活動を続けてきました。震災前は、地域に伝わる人形劇や演劇などを上演し、東京・日本青年館で開かれる全国青年大会で披露してきました。また、クリスマスに子どもたちにもプレゼントを届ける「出張サンタクロース」も記憶に新しいところです。

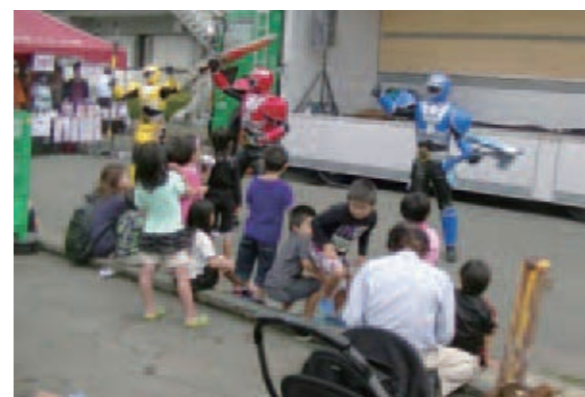
震災後は団員不足で一時活動を休止していましたが、2012(平成24)年に入って再開しました。小槌地区にある絆ハウス内に拠点を置いています。団員は十数名。「この町を好きになってもらう、この町の魅力を再発見する」をめざして、毎週、定期的に集まり、活動内容を論議し、団員以外の若者も加わって親睦を深めています。

「震災後に発足した防災戦隊・ホウライオーで、防災の啓蒙に努めています。南海トラフ地震が心配されている今、ホウライオーの防災色を一層、強めたいと思っています」と会長の川端雄貴さんは話します。

ご当地ヒーローのホウライオーは2012年に誕生。ホウライレッド、ホウライブルー、ホウライイエロー、

といったキャラクターを用い、町内外のイベントで防災を親しみやすく説明しています。

また、今年の七夕には、絆ハウス敷地内で仮設住宅の子どもたちを対象に、読み聞かせみや花火などを楽しみました。
川端さんは「これからは、若い人が楽しめるイベントも開催したい。青年層を支えるのは誰だ?となったとき、僕たちじゃないかな、と。若い人の背中を押すような、そんな団体でありたいと思っています」と話しています。



盛岡市で開かれたイベントで登場したホウライオー

〒028-1121
大槌町小槌第7仮設
TEL 090-5557-4479

復興推進課からのお知らせ～住宅再建相談会を開催します～

岩手県居住支援協議会（岩手県、市町村および業界団体などからなる協議会）では、関係機関などと連携し、被災者向けの住宅再建相談会を開催します。この相談会は、被災者に住宅再建に関する公的支援や融資、地域型復興住宅などの情報提供を行うとともに住宅再建の専門家（ファイナンシャル・プランナーや建築士）が個別の相談に応じます。

■日時・場所 12月14日（日）

- ①【午前の部】10：00～12：30まで【会場】役場仮庁舎（旧大槌小学校）3階大会議室
- ②【午後の部】14：00～16：00まで【会場】大槌第5仮設団地集会所（和野）

■内容 ・説明会

住宅の自立再建に対する公的支援制度、住宅融資などについて説明します。

・相談会

公的支援制度、住宅融資、住宅再建関係について個別に相談対応します。

※①②ともに事前申込および参加料不要です。直接会場にお越し下さい。

- 問い合わせ先 岩手県県土整備部建築住宅課 Tel 019-629-5933
復興推進課 建築住宅班 Tel 0193-42-8714

移転先住宅団地の宅地募集のお知らせ

町は、防災集団移転促進事業による、移転先住宅団地の募集を随時、行っております。募集する住宅団地、画地数などは随時、変動いたしますので、詳しくは町ホームページをご覧ください。都市整備課までお問い合わせください。

■募集している住宅団地の地区

- ▷町方、小枕・伸松地区（6宅地）
- ▷吉里吉里、浪板地区（4宅地）
- ※平成26年11月26日時点

■募集期間（吉里吉里地区D団地D-1-2）

- 平成26年12月8日（月）～
- 平成27年1月18日（日）

※ただし、申し込みがあり次第、終了となります。

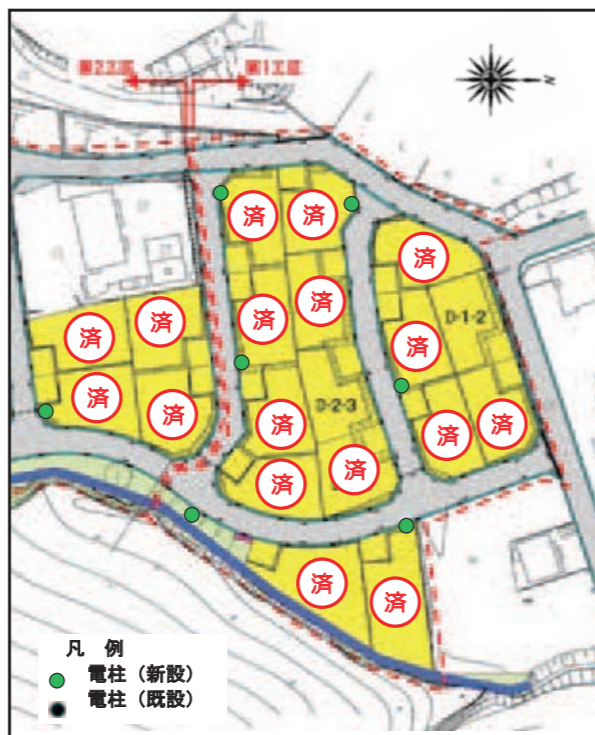
■申し込み方法

町役場都市整備課に備え付ける「防集宅地申込書」によりお申し込みください。希望する方には申込書を送付しますので、電話でお申し付けください。申込書は町ホームページからもダウンロードができます。

■問い合わせ先

- 都市整備課 Tel 0193-42-8723

今回新しく募集する吉里吉里地区D団地（D-1-2）



Topics

「壮関」が安渡に工場立地～平成28年1月稼働めざす～

全国のコンビニやスーパーに海産物を材料にした菓子やおつまみを製造、出荷している栃木県矢板市の「株式会社 壮関」が大槌町に工場を新設することになり、9月24日、工場立地協定の調印式が町役場でありました。

新工場は鉄骨造り一部2階建て、延べ床面積約5500メートルで、安渡地区に建設されます。平成27年4月の着工、12月完成、平成28年1月稼働をめざします。総事業費は約20億円。稼働当初は20～30人、本稼働時には80～100人の雇用が見込まれています。

壮関は茎ワカメなどを素材とした水産加工品を製造、販売し、平成25年度の年商は35億1900万円。調印式後のあいさつで、関雅樹社長は「三陸とは深いつながりがある。復興の一翼を担って恩返ししたい」と述べ、碓川豊町長は「生業の再生に向けて雇用拡大が期待できて心強い」と期待を込めました。

震災後、大槌町への立地企業は、水産加工業の

平庄株式会社（釜石市）、カキレストランの株式会社ヒューマンウェブ（東京都中央区）、冷凍食品製造と外食事業のプロトンダイニング株式会社（奈良市）、水産加工業の石山水産株式会社（山田町）、水産加工業の小野食品株式会社（釜石市）に次いで6社目です。



立地協定書を交わした碓川豊町長（左）と「壮関」の関雅樹社長（右）＝9月24日、大槌町役場

Topics

震災後サンマの初水揚げ～廻来船誘致に足がかり～

大槌町の魚市場で11月12日朝、震災後初のサンマの水揚げがありました。入港したのは船籍港・根室の第六十三若竹丸（19トン）。午前7時に船倉に収められたサンマの水揚げが開始されました。2時間ほどで約25トンの水揚げが終わり、生食用、加工用として水産加工会社に引き取られました。

佐々木彰副町長が魚市場を訪れて若竹丸の関係者にあいさつし、「今後も大槌で水揚げしてほしい」と要望しました。大槌町では三陸漁場で操業する漁船を大槌港に呼び込もうと10月、大槌町廻来船誘致協議会が設立され、新しい大型の製氷貯水施設も建設中です。この水揚げが廻来船誘致の足がかりになってほしいと、関係者は願いました。



魚市場にサンマを水揚げする根室の第六十三若竹丸＝11月12日、大槌港

公共交通コラム

「みんなの足はみんなを守る！」

第4回 乗って残し、育てる鉄道・バス

昭和50年代あたりを境に、経営が難しくなってきた状況をこ... 県山口市で私がヒアリングした際にある高齢者がつぶやいていた「オレの免許は〇〇(居住地域)限定免許」だ」という言葉が印象的でした。マイカーしか交通手段がなくなってしまうと、マイカーを使えない人たち(単に免許を持つていない高齢者や子供たちというだけでなく、前記のような高齢者やけがなどで運転できない人も)は移動することができなくなります。商店や公共施設も駐車場スペースがとれる場所に点在し、みんなが用事を済ませてすぐその場を離れて行きますから、まちのにぎわいなど望むべくもなくあります。まちはみんなが集い、歩いてこそにぎわい、活気生まれるのです。全国で市街地の空洞化が進み始めたのも昭和50年代：公共交通の衰退とまちづくりの課題の根っこはどうかや同じところにあるようです。

沿線住民の利用が基盤

公共交通は、今あればそれでよい、というだけのもではありません。本当に移動に困る人が増える5年後、10年後に続けて行かなければなりません。そのためには、地域

に合った効率的な交通 ネットワークを形づくることと、みんなが利用して育てることが大切です。

今の地方の鉄道やバスはほとんど赤字経営ですが、多くの人が利用し、収入が増えれば赤字は解消されます。全国的な傾向として、そのために観光客を増やして鉄道やバスを利用してもらおうという

考え方があります。機動性の高いマイカーやレンタカーの場合、よほど全国に知られた観光スポットでもない限り、すぐに移動できるぶん通過地点になってしまう恐れが大ですが、鉄道やバスで来てくれる観光地はそこで食事や宿泊、お土産などに時間を過ごし、お金を使ってくれます。交通機関の増収以上に、地域への経済効果も大きいといえます。ですから鉄道やバスを利用して観光客に来てもらって交流人口を増やそうというのも正しい選択なのですが、観光には波があります。また、全国が競争相手です。それに何より、たとえ2000人の観光団体が利用してくれたとしても、その人数は仮に翌年、毎日利用する高校生が1人減ったら相殺されてしまうのです。つまり、観光客の誘致に頼っているのはダメで、沿線住民の利用が基盤としてあることが大切なのです。

マイレール・マイバス利用を

そうはいってもマイカーがなければ生活できないよ、という意見もわかります。もちろん、マイカーの普及は人々の行動範囲を拡大させましたから、その「少数分散型」と



観光交流を拡大した三陸鉄道の「震災学習列車」

でもいうべきマイカーによる移動ニーズを、大量集約型の公共交通ですべてカバーすることは不可能です。でも、今の移動全てがマイカーでなければ不可能かという、そんなことはないはずなのです。マイカーをやめて毎日鉄道やバスに

乗ってくださいますとは言いません。たとえば年に1回か2回、旅行や仕事で東京や遠方に行くことがあるでしょう。そのときにバスや鉄道を使って新幹線の駅まで行くだけでもいいのです。

三陸鉄道が平成26年度上半期は赤字になりました。とても喜ばしいことですが、それがずっと続くとはいけません。これまでの実績を大きくくりで言う、だいたい毎年1億円の赤字が出ていました。でも、南北リアス線の沿線市村の人口の合計はざっと20万人。広い行政区域ですから三鉄沿線と言えぬ地域の人口を半分の10万人と見ても、その10万人が年に1回、最寄駅から宮古なり釜石なり拠点駅まで往復で利用すると、平均の往復運賃額は千円近くなるでしょうから、それだけで1億円の赤字はカバーできてしまうのです。おそらく山田線も、同じような計算ができるはず。計算上の数字ではありませんが、これならできない話ではないと思いませんか。

交通ジャーナリスト 鈴木文彦



⑤ 海の肥料？

海にも肥料があることをご存じですか？ 野菜やきれいな花をたくさん育てたい時にまく、あれです。海の中にもそこで生きる生き物の量を決める成分があり、畑や花壇と同様、環境中に不足しがちな「窒素」と「リン」がその主役となっています。これらの二つのほか、生き物を形作るために必要な成分で、水に溶けているものを「栄養塩類」と呼びます。つまり、「海の肥料」です。これらは陸上と同じように、生き物のフンや死骸などが分解されることで作り出されています。

今回は生き物のからだとなったたり、ふたたびその材料である栄養塩類としたりしながら、海を巡る「元素」の話になります。

体を形作る元素たち

体重70kgの人のからだの材料となる元素は、多いものから順に、酸素が約46kg、炭素が約13kg、水素が約7kg、窒素が2kg、カルシウムが約1kg、リンが約1kg、これらで約99%が占められ、そのほかの微量な成分が加わります。窒素とリンが重要な元素であることがわかりますね。

我々は食べ物を通じて、これらの元素をからだに取り入れています。その食べ物のもとをたどれば、すべて植物が土の中から取り出した成分に行き着きます。海の場合は、小さな藻類をはじめとする植物が集めた「栄養塩類」であったものです。



大槌川、小鏡川の河口部で研究用に育てたワカメ。ワカメの組織を調べることで、大槌湾に流れてきているどんな海流が成長に重要なのかを調べています

世界をめぐる「栄養塩類」

では栄養塩類はどこにたくさんあるのでしょうか？ 生き物のフンや死骸が分解されて出来る栄養塩類は、やはりそれらの沈んでいく先である海の深いところにある水や、海底の泥の中にたまりまます。水温や風の影響で海が大きくかき混ぜりやすい寒い地域では、こうした深いところにある栄養塩類が浅いところへ運ばれます。北の海でかき混ぜられた栄養塩類の豊かな水が、親潮として大槌湾にもやってきます。一方、陸上の土の間を流れてきた雨水も、豊富に栄養塩類を含んでいます。これらは川を通じて海に注ぎ込まれます。

このため大槌湾の藻類の量は、夏場には川の流れ込むあたりで多くなりますが、親潮がやってくる2月〜4月にそのピークを迎えます。その時期に目を凝らして海を見てみれば、普段よりも海が茶色く濁っているのを感じることができるかもしれません。その時は、はるか北



福田秀樹 1971年神奈川県生まれ。専門は海の生き物と環境の関係を化学的視点から考える生物地球化学。微生物群集と彼らの栄養源となる物質の関係を身近な三陸沿岸域から遠く離れた太平洋の沖合の水深数千メートルを対象に調べている。

の海からやってきた元素たちに思いを巡らせてみてください。生き物は自然の調和を乱さぬよう上手に生きていると思われがちです。しかし、藻類やプランクトンは、自分たちが増えることができなくなってしまうぐらい、栄養塩類を使い切ってしまうことをしばしばやります。地球上の海全体を見渡せば、むしろ栄養塩類が使い切られて枯渇している場所の方が広いとさえ言えます。これもまた、自然の一面と言えるでしょう。新たな栄養塩類が供給される仕組み、海に肥料をまく仕組みを理解することは、その地域の海の特徴を理解し、うまく利用することに繋がります。今回は化学の視点から大槌湾を眺めてみましたが、もっと知りたい方はぜひ質問コーナーに！

東京大学大気海洋研究所 国際沿岸海洋研究センター・沿岸保全分野・助教 福田秀樹

「質問コーナー」

皆さんからの質問をお待ちしています。住所、氏名、連絡先(電話番号など)を明記し〒028-1102 大槌町赤浜 2-106-1 東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センターへ。ファクス0193(42)5612でも受け付けます。選ばれれば、次回以降のこのコーナーで質問にお答えします。



マイカーを使えない人の移動を賄う路線バス

総務課からのお知らせ

▼大槌町有線テレビジョン放送 議会中継再放送のお知らせに ついて

町は大槌町有線テレビジョン放送をご利用されている方を対象に「11チャンネル（おおちゃんねる）」にて平成26年第3回定例会（9月）の再放送を実施します。

■放送日程

12月15日（月）から12月19日（金）まで

■放送時間

10時から16時まで
※放送内容により終了時間が異なります。町では、今後も議会中継の再放送を実施します。

放送日程につきましては、ホームページ、広報などでお知らせします。

◎総務課 情報システム管理班

Tel 0193（42）8710

▼大槌町有線テレビジョン放送 施設の設置及び管理に関する 条例及び関連施行規則が改正 されました

平成26年第3回定例会において、有線テレビの条例の改正と併せて施行規則が改正されました。町民の皆さまの生活に關連する部分について、概要をお知らせします。

■使用料などの減免について

条例の改正により、平成26年度からの使用料などの減免について次のように変更しました。

- ・減免範囲
- ① 工事負担金 ② 加入負担金

農林水産課からのお知らせ

▼漁船漁業者の皆さまへ

大槌町廻来船誘致協議会では、大槌町における水産業の振興を図るため、大槌町魚市場に水揚げする漁船漁業者等に対して、次の助成事業を実施します。

■漁船漁業の操業に係る氷購入に対する助成事業

大槌町魚市場に水揚げする漁船漁業者および町内外に立地する水産加工業者に対して、その操業に使用する氷の購入費用の一部を助成します。（水産加工業者の氷の購入については、年間100トン以上の購入を対象とします）

■漁船漁業の操業に係る燃料購入に対する助成事業

大槌町魚市場に水揚げする漁船漁業者に対して、その操業に使用する燃料の購入費用の一部を助成します。（一隻当たり年間3万円を上限とします）

■大槌町魚市場に対する漁船漁業水揚げ奨励金支給事業

大槌町魚市場に水揚げする漁船漁業者に対して、水揚げ奨励金を支給します。 ※全ての事業は年度末に支給し、大槌町魚市場への水揚げ金額が年間50万円以上であった方を対象とします。

■事業対象区分

- ① 廻来船（大槌町に隣接する市町以外の漁港に船籍がある漁船）
- ② 近隣漁船（大槌町に隣接する市町の漁港に船籍がある漁船）

③ 使用料 ④ 放送料

- ・減免対象
- ① 公共施設 ② 生活保護受給者
- ③ 放送業務運用上必要不可欠なものの生活保護受給者の方で平成26年度以降に有線テレビを使用されている方は、保健福祉課生活保護担当へ使用料の減免について一度ご相談ください。
- 集合住宅の平成27年度からの使用料徴収について

一般住宅との公平性の観点から集合住宅の使用料については平成27年度分から入居可能戸数分を徴収します。
（例：10戸が入居可能なアパートであれば、平成27年4月から10戸分の使用料を徴収します）

集合住宅の所有者には、戸数調査票を順次送付しますので、記入のうえ返送をお願いします。

◎総務課 情報システム管理班

Tel 0193（42）8710

◎保健福祉課 地域福祉班

Tel 0193（42）8715

町民課からのお知らせ

▼医療費の免除期間を延長します

東日本大震災で被災された人の、医療機関での窓口負担の免除期間を延長します。

■期間

平成27年12月31日まで

■対象者 大槌町の国民健康保険・後期高齢者医療に加入する①～⑤のいずれかに該当する人

- ① 住家が全半壊（全半壊）
- ② 主たる生計維持者が死亡・行方不明・

- ③ 地元漁船（大槌港に船籍がある漁船）
- ※ 地元漁船のうち、定置漁業、養殖漁業、地引網漁業、採介藻漁業を営む漁船は対象外となります。
- ④ 水産加工業者（大槌町に立地する水産加工業者）

■申請方法
助成金の支給を希望される方は、水揚げ振興対策事業費助成金交付申請書（様式第1号）に必要事項を記入のうえ、漁船登録票（写）を添付し、左記窓口まで申請してください。

決定した方には、水揚げ振興対策事業費助成金交付決定通知書（様式第2号）により通知します。

◎農林水産課 水産班

Tel 0193（42）8717

環境整備課からのお知らせ

▼町道の通行止めについて

積雪による安全確保のため、新山地区の町道を通り止めます。

■期間 平成26年12月10日から平成27年4月15日まで

※積雪の状況により期間を変更する場合があります。

■路線

- ① 一部区間通行止め 小鎚1号線、新山1号線
 - ② 全区間通行止め 新山2号線、新山3号線、新山4号線、新山5号線、水境線
- 通行止めを行う場所の詳細につきましては、左記までお問い合わせ下さい。

◎環境整備課 庶務管理班

Tel 0193（42）8722

重篤な傷病

- ③ 福島原発の避難指示などの対象
- ④ 主たる生計維持者が事業を廃止または休止

⑤ 主たる生計維持者が失業し収入がない ※④⑤により免除の対象となっている人は、現在もその状態が継続している人が対象となり、事業を再開、または就職している場合は対象となりません。

■免除証明書の交付方法

- ①～③の人
- 12月中に証明書を郵送します。手続きは必要ありません。
- ④⑤の人

現在の事業の再開または就職の状況収入などの確認が必要となるため、再申請が必要です。申請により対象となる場合に交付します。

※④⑤の人の申請方法

現在、国保または後期高齢者医療に加入中で、免除証明書が交付されている人（国保は世帯主）に、申請書類を郵送します。申請される場合は、送付された書類を記入のうえ町民課国保年金班へ提出してください。

◎町民課 国保年金班

Tel 0193（42）8713

保健福祉課からのお知らせ

▼北朝鮮当局による人権侵害問題 に対する認識を深めましょう

毎年12月10日から16日までは「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」です。

拉致問題は、我が国の喫緊の国民的課題であり、この解決を始めとする北朝鮮

当局による人権侵害問題への対処が、国際社会を挙げて取り組むべき課題とされる中、この問題についての関心と認識を深めていくことが大切です。

詳細は、政府拉致問題対策本部ホームページをご覧ください。 (<http://www.rachi.go.jp/>)

◎保健福祉課 地域福祉班

Tel 0193（42）8715

商工観光課からのお知らせ

▼「第3回大槌町産業集積地（安渡地区）に関する事業者向け説明会」を開催します

町では、町内事業者の事業再建先や新規事業者の立地先として、新町地区および安渡地区に産業集積地の整備を進めています。供用が開始された新町地区に続いて、来年度以降、安渡地区でも順次供用が開始されていく予定です。

つきましては、利用事業者の公募に向けた動きやスケジュールを事業者の皆さまにご説明することを目的として、左記のとおり「第3回大槌町産業集積地（安渡地区）に関する事業者向け説明会」を開催します。

■日時

12月18日（木） 18時から

■場所

大槌町役場3階 大会議室

■対象 大槌町産業集積地（安渡地区）の利用を希望されている事業者の方 ※震災以降に新たに立地された事業者の方も含まれます。

◎商工観光課

Tel 0193（42）8725

選挙管理委員会からのお知らせ

▼政治家と有権者のクリーンな関係を保ち、お金のからない選挙を実現するために寄附禁止のルールを守りましょう

①政治家の寄附の禁止

政治家が選挙区内にある者に対して寄附をすることは、その時期や名義のいかんに関わらず禁止されています。また、政治家以外の者が政治家名義の寄附をすることも禁止されています。

②政治家に対する寄附の勧誘・要求の禁止
政治家に対し、寄附をしようとするよう勧誘や要求をすることも禁止されています。

③政治家の関係団体の寄附の禁止

政治家が役員や構成員である団体や会社が、選挙区内にある者に対し、政治家の名前を表示したり、氏名が類推されるような方法で寄附をすることは禁止されています。

④後援団体の寄附の禁止

政治家の後援団体（いわゆる後援会）が、選挙区内のある者を行う寄附も、政治家の寄附同様に禁止されています。

⑤時効のあいさつなどの禁止

政治家が選挙区内にある者に年賀状や暑中見舞状などの時候のあいさつ（電報も含む）を出すのは、「答礼のための白筆によるもの」以外は禁止されています。また、政治家や後援団体が選挙区内にある者にあいさつする目的で、新聞・雑誌・テレビ・ラジオなどで有料広告を出すこと処罰されます。このような広告を出すように求めることも禁止されています。

政治家の寄附は禁止、有権者が求めることも禁止されています

<p>みんなで徹底しよう 三ない運動</p> <p>聞らない！ 求めない！ 受け取らない！</p> <p>これらのものも、政治家の寄附禁止の対象となります。</p>	<p>秘書等が代理で出席する場合の結婚祝</p>	<p>地域の運動会・スポーツ大会への飲食物等の差入</p>	<p>お祭りへの寄附・差入</p>	<p>町内会の集会・旅行等の催物への寸志・飲食物の差入</p>	<p>落成式・開店祝等の花輪</p>
<p>病気見舞</p>	<p>お歳暮・お年賀</p>	<p>入学祝・卒業祝</p>	<p>葬儀の花輪・供花</p>	<p>秘書等が代理で出席する場合の葬儀の香典</p>	

総務省 なるほど！選挙「寄附の禁止」 (公財) 明るい選挙推進協会
総務省 寄附の禁止 検索 明るい選挙推進協会 三ない運動 検索

◎選挙管理委員会

Tel 0193（42）8714

都市整備課からのお知らせ

▶「(仮称)大ケ口大橋」の橋の名称を募集します

大槌川に橋梁を架設し、地域の防災力の向上、ネットワークの強化を図るため、平成27年度末の完成を目指して「(仮称)大ケ口大橋」を整備します。

■募集内容

「(仮称)大ケ口大橋」の橋の名称

■募集期間

12月5日(金)から12月25日(木)(必着)

■応募方法

応募用紙に必要事項を記載のうえ、FAX、郵送による提出もしくは下記の場所に設置する応募箱に投函してください。

■応募用紙・応募箱の設置場所

- ・大槌町役場町民ホール
- ・大槌町役場金沢支所
- ・大槌町中央公民館
- ・公民館安渡分館
- ・公民館赤浜分館
- ・公民館吉里吉里分館
- ・公民館浪板分館
- ・大ケ口多目的集会所
- ・大槌町復興まちづくり情報プラザ
(シーサイドタウンマスト内2階)

■留意事項

- ・橋の名称として「〇〇橋」の〇〇にあたる名称を応募用紙に記載してください。
- ・1人で複数の名称を応募できますが、同一名称を複数応募されても1点として扱います。
- ・既に大槌町内にある橋の名称はつけられません。
- ・応募用紙は大槌町復興局のホームページからダウンロードすることもできます。(大槌町HP: <http://www.town.otsuchi.iwate.jp/bunya/jyutaku-doro/fukkokkyoku/>)
- ・橋の名称は、(仮称)大ケ口大橋名称検討委員会で選考して決定します。

■問合せ先

〒028-1192 岩手県上閉伊郡大槌町上町1-3 都市整備課 区画整理班 TEL 0193-42-8723 (直通) FAX 0193-42-3858



生涯学習課からのお知らせ

- ・11月6日(木) 岩手国体ダンスキャラバン隊が大槌町を訪問し、大槌保育園でダンス教室を行いました。全園児が元気に、わんこ兄弟(そばっち)と一緒に踊っていました。



- ・11月9日(日) オリンピックデー・フェスタ in 大槌が城山公園体育館で開催されました。5人のオリンピックの方々とふれあいながらのミニ運動会、90人を超える町民の参加者が、4種目の競技に奮闘しました。



生涯学習課 TEL 0193-42-2300

水道事業所からのお知らせ

▶水道メーターの検針にご協力ください

水道メーター(量水器)は、お客さまの水道使用量を測り、料金を決めるための重要な役割を担っています(毎月月上旬に実施)。水道メーターボックスの上には、車両を駐車したり物を置かないほか、飼い犬は放し飼いにせずメーターボックスから離れた場所につなぐなど、検針にご協力をお願いします。

また、積雪の場合も同様ですが、検針が出来ない場合には、水道事業所が使用実績に基づき認定した使用水量による料金のご請求となりますのでご了承くださいませますようお願いいたします。

▶水道管の凍結にご注意ください

気温が氷点下になりますと、水道管の凍結・破損の恐れがあります(過去5年間のうち、多い年では年間80件近くの水道管凍結事故の報告を受けております)。水道管の凍結・破損を防止するためにも、各ご家庭に設置されている不凍栓(水抜き栓)を操作するなどの凍結防止対策をお願いします。

なお、水道管を凍結・破損させてしまった場合には、大槌町指定の給水装置工事事業者(指定店)へ修理を依頼するようお願いいたします(大槌町および釜石市内の指定店の一覧は、下記のとおりです)。

■大槌町指定給水装置工事事業者(大槌町内・釜石市内)一覧

工事事業者名	事業所の所在地	電話番号	工事事業者名	事業所の所在地	電話番号
赤武石油ガス(株)	桜木町	0193-42-3167	(有)イズミ空調	釜石市甲子町	0193-23-0352
(有)荒屋タイル店	花輪田	0193-42-6866	(有)エイゼン建工	釜石市平田	0193-26-5941
(有)エイワ工業	沢山	0193-42-2611	(株)MKコーポレーション	釜石市鶴住居	0193-55-5507
SKC水道設備	赤浜	0193-42-3311	釜石ガス工事(株)	釜石市松原町	0193-22-5907
川勝商店	吉里吉里	0193-44-2858	(有)佐藤設備	釜石市定内町	0193-23-8107
(有)小松組	大槌第7地割	0193-42-7268	(有)鈴木建設	釜石市松原町	0193-22-1716
三陸電業(株)	大町	0193-28-1950	(有)電化プラザカネヨシ	釜石市中妻町	0193-25-2461
※電話番号は釜石支店			(株)東北水道工事	釜石市平田	0193-26-7311
(株)鈴藤商店	沢山	0193-42-3362	(株)都南建設釜石支店	釜石市千鳥町	0193-25-2135
大安環境(有)	安渡	0193-42-2263	(有)日管水道	釜石市小川町	0193-23-0316
(有)トミーシステム	白沢	0193-42-7603	(株)日水設備工業岩手支店	釜石市中妻町	0193-55-4416
(株)藤原組	小鎚	0193-45-2026	(有)花崎産業	釜石市定内町	0193-23-2100
松村建設(株)	沢山	0193-42-3640	濱口設備	釜石市平田	0193-26-5625
(有)丸晴	赤浜	0193-42-6217	松村工業(株)	釜石市中妻町	0193-23-1888
(有)八幡組	小鎚	0193-42-8600	村松設備工業(株)	釜石市松原町	0193-24-2425
(株)山口建設	沢山	0193-42-5437	三浦設備(株)	釜石市平田	0193-26-5641
釜石市内	釜石市野田町	0193-23-9177	(有)山繁水道	釜石市鶴住居町	0193-28-2622
アタック	釜石市只越町	0193-22-5247	(株)山元	釜石市港町	0193-22-1805
(有)荒井電気商会	釜石市小川町	0193-23-3643	リフォームショップランナー	釜石市鶴住居町	080-5551-5036
(有)石川住宅設備					

水道事業所 TEL 0193-42-2035

農林水産課からのお知らせ

▶圃場整備に伴う用途地域の変更について、説明会並びに都市計画案の縦覧を行います

町では、大槌町下野地区(大槌町大槌第22地割字下野地区付近)について、被災農業等総合復興支援事業に基づき、町の一次産業の拠点となる土地利用を図るため、用途地域の変更案についての説明会および都市計画法に基づいた都市計画の案の縦覧を下記のとおり行います。

○説明会 ■日時 12月24日(水)18時から ■会場 役場大会議室(3階)

○大槌都市計画各案の縦覧 用途の変更(町決定)

■縦覧期間 平成27年1月5日(月)から同年1月18日(日)(祝日、土、日も縦覧可)

■縦覧時間 8時30分から17時15分

■縦覧場所 農林水産課(役場1階) ※内容は、町ホームページでも見ることができます。

■意見書の提出 縦覧期間内に、町が決定した計画に対して意見書を提出することができます。意見書は縦覧場所へ所定の様式を用いて提出してください。(郵送可:縦覧期間内期日消印有効)

■送付先 〒028-1115 大槌町上町1-3 大槌町役場 産業振興部 農林水産課

※意見書の様式は、町ホームページからもダウンロードできます。詳細は、農林水産課までお問い合わせください。

■縦覧内容 下野地区用途変更(案)

農林水産課 農林班 TEL 0193-42-8717

保健だより

健診・相談・予防接種

健診・相談を下記のとおり実施します。会場は大槌町仮設保健センター（寺野）です。また、予防接種を受ける際には、予診票と母子健康手帳を忘れずにお持ちください。水痘（水ぼうそう）予防接種の会場は、大槌町役場多目的会議室（役場隣の体育館）になりますのでお間違えのないようご注意ください。

- | | |
|---|--|
| 【12 ヶ月児相談】
■実施日 12月17日（水）
■対象者 平成25年11月生まれ、平成25年12月生まれ
■受付時間 9:30～10:00（平成25年11月生まれ）
13:30～14:00（平成25年12月生まれ） | 【四種混合（ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ）予防接種】
■接種日 12月19日（金）
■対象者 平成19年8月生まれ～平成26年9月19日以前生まれ（生後3ヵ月～生後90ヵ月）
■受付時間 13:00～13:20 |
| 【3歳児健康診査】
■実施日 12月12日（金）
■対象者 平成23年6月生まれ、平成23年7月生まれ
■受付時間 12:00～12:30 | 【水痘（水ぼうそう）予防接種】
■接種日 12月16日（火）
■対象者 平成22年1月生まれ～平成25年10月生まれ
■会場 大槌町役場多目的会議室（役場隣の体育館）
保健福祉課 健康推進班 TEL 0193-42-8715 |

知っていますか？ 予防接種あれこれ

9月5日号の広報おおつちに、定期予防接種のヒブ感染症予防接種について掲載しました。今回は、肺炎球菌感染症予防接種について紹介していきます！

Q6. 肺炎球菌ワクチンってどんな病気を予防するの？

A6. 肺炎球菌は、鼻やのどに保菌され、血液中に入り細菌性髄膜炎、細菌性肺炎などを引き起こし、死亡や重い後遺症が残ることもあります。また、重い中耳炎の原因にもなります。しかし、肺炎球菌ワクチンを接種することで、重い感染症（化膿性髄膜炎、敗血症、肺炎など）を予防することが期待されます。

Q7. 効果はどれくらいあるの？

A7. 標準的な接種期間である生後2～7ヵ月未満でワクチンを接種することにより、重症化のリスクを95%以上減らすことができると言われています。

Q8. 肺炎球菌感染症にかかりやすい年齢は？

A8. 5歳未満のお子さんに多いと言われています。標準的な接種期間内に予防接種を受けることで、少しでも発病のリスクを抑えることが可能になります。

《標準的な接種期間》

※初回を受ける時期によって接種回数が変わってきますが、標準的な接種時期である生後2～7ヵ月に初回接種を受けお子さんの免疫をつけていきましょう。

接種時期	目安の期間・接種回数
生後2～7ヵ月未満 （標準的な接種時期）	初回接種：1歳になるまでに3回接種する 追加接種：初回接種が3回終了のおおむね1年後（7～13ヵ月の間隔をあける）に1回追加接種する
生後7ヵ月～1歳未満	初回接種：1歳になるまでに2回接種する 追加接種：初回接種が2回終了後のおおむね1年後（7～13ヵ月の間隔をあける）に追加接種する
1～2歳未満	1～2歳未満に初めて接種する場合2回接種する
2歳～5歳未満	1歳～5歳未満に初めて接種する場合1回接種する

保健福祉課 健康推進班 TEL 0193-42-8715

12月1日は世界エイズデー

世界保健機関（WHO）は、1988年にエイズまん延防止および患者・感染者に対する差別・偏見の解消を図ることを目的として、12月1日を“World AIDS Day”（世界エイズデー）と決めました。

本年で27回目の世界エイズデーを迎え、12月1日を中心に全国的な啓発活動が行われる予定です。

保健福祉課 健康推進班 TEL 0193-42-8715

おらほの町の地域包括支援センター



ここでは、高齢者に関わる様々な話題を掲載しています。

これからが寒さの本番です 予防しましょう♪ 『生活不活発病』

生活不活発病とは

動かない状態が続くことで、心身の機能が低下して「動けなくなる」ことを言います。これからの時期は、気温も低くなり外出するのもよりおっくうになってきます。「動かない」と「動けなく」なり、ますます「動かなく」なる悪循環となってしまいます。

予防のポイント

- ①毎日の生活の中でのなるべく動くことをこころがけましょう。
家事をする場合、普段よりも大きく動く。
外出の回数を増やす（買い物、友人や親戚宅を訪問、散歩など）
- ②家庭、地域、社会で楽しみや役割を持ちましょう
自治会活動に参加する、ボランティア活動、
町などで行っている教室に参加してみる。
- ③年だからと「無理は禁物」「安全第一」と思い込まないで！
疲れやすい時は、少しずつ動き、休憩を入れながら回数を
多くするなど工夫をしてみる。
病気の時は、どの程度動いてよいか主治医に相談してみましょう。



第3回 大槌町鶴亀仙(川)柳コンクールを開催します！

募集期間：平成26年12月20日(土)～平成27年1月18日(日)

大槌町では、町民の皆さまにいつまでも元気で過ごしていただけるよう、「介護予防」を広く知ってもらい、多くの方が介護予防に取り組めるよう介護予防川柳コンクールを開催します。今回のテーマは『笑』です。思わずニコリ、にんまり、クスッと笑ってしまう日常、おじいちゃん、おばあちゃんとのほほ笑ましいエピソードなどを作品にし、奮ってご応募ください。

大槌町地域包括支援センター TEL 0193-42-8716

地域包括ケア シンポジウム 「ここで暮らし続ける」～ひとりひとりが地域の力～

■日時 12月20日（土）14:00～15:30 ■会場 城山公園体育館 ■参加費 無料

■プログラム

- 基調講演 テーマ「生きる苦悩から生きる幸せ」 講師：山梨学院大学 法学部 政治行政学科 教授 竹端 寛 氏
- フロアディスカッション テーマ「高齢者の運転・移動を考える」
- 申し込み・問い合わせ 大槌町地域包括支援センター TEL 0193-42-8716

認知症の方を介護する家族と支援者のつどい

認知症について悩みを抱えこまず、自分の悩みを話し、相談してみませんか。下記のとおり開催しますので、ぜひご参加ください。※参加費は無料

■日時 12月25日（木）13:30～15:00

■会場 大槌町大ケ口多目的集会場（大槌町大ケ口一丁目5-5）

■相談員 公益社団法人 認知症の人と家族の会 岩手県代表 小野寺 彦宏さん ほか

■活動紹介 医療法人 楽山会 はまゆり在宅介護支援センター 所長 上野 武夫さん

※釜石市で活動している「認知症の人とあゆむ会」の取り組みを紹介いただきます。

■申込先 長寿課 地域包括支援班 TEL 0193-42-8716

■沿岸広域振興局保健福祉環境部福祉課（担当：那須川）TEL 0193-25-2702 長寿課 地域包括支援班（担当：小笠原）TEL 0193-42-8716

ひょうたん島日記

復興に向けて心ひとつに ～初の町民大運動会開催～

復興に向けて町民の心を一つにしようと、初の「大槌町民大運動会」が11月2日、大槌小・中学校仮設グラウンドで開かれました。この運動会は大槌高校生が発案しました。大槌高校2年生が昨年11月、町役場幹部に説明したまちづくりに向けたコミュニティー戦略案に、大運動会開催を盛り込みました。世代間、地域間の交流を深め、心を合わせて復興に取り組もうという狙いからです。

町は、提言を受けて開催費用を予算化し、実現しました。運動会には、仮設住宅から参加した町民のほか、町内外の支援団体や大学生、応援職員を含め



た町役場職員らが参加しました。防災をテーマにした「防災三択クイズ」「バケツリレー」などユニークな種目も加わり、力と技と知恵を競い合いました。

花いっぱいでおもてなし ～ハマギクプロジェクトも始動～

町内に「おもてなし花壇」をつくろうという大槌町花と夢いっぱいプロジェクトの事業が11月7日、スタートしました。平成28年の岩手国体では、大槌町で、ソフトバレーボールがデモンストレーションとして開催されます。国道45号沿いの花壇を花いっぱいにして来場者をもてなそうという企画です。

7日はコンビニエンスストア周辺の花壇で大槌保育園の園児25人が色とりどりのパンジーやピオラを植えました。8日も一般の町民が参加して植え付

けしました。同時におおつちハマギクプロジェクトも始動しました。ハマギクの花言葉は「逆境に立ち向かう」。復興に向かう大槌町の姿と重なり合うハマギクの苗を町民に配布し、町内各戸で育て、増やしていくという活動です。



「大槌の宝カレンダー」を寄贈 ～大槌小4年生がイラスト描く～

公益社団法人日本広告制作協会が大槌町の被災者支援に向けた「大槌の宝カレンダー2015」を制作、鈴木清文理事長ら協会の関係者が11月14日、町役場を訪れ、碓川豊町長にカレンダーを寄贈しました。大槌小学校4年生の児童64人がサケや虎舞など大槌の四季の風景や行事、特産品などをイラストに描き、協会に所属するクリエイターがイラストを素材にデザインし、2500部制作しました。町内の仮設住宅や大槌小学校に寄贈し、東京・銀座の銀座三越で11月18日まで開催したカレンダー展で1部1千円で販売し、益金全額を町に寄付します。鈴木理事長



は「子どもさんたちに、心の中にある一番大事な大槌を描いてもらった。素敵なカレンダーが完成しました」と話しています。

すくすく 赤ちゃん

このコーナーでは、町内の1歳前後の赤ちゃんを紹介しています。今月は平成25年8～10月生まれの赤ちゃんです。



祝田 愛礼菜ちゃん
平成25年8月13日生
ニコニコ笑顔が素敵なエレナちゃんです。
(家族代表者名：祝田 陽輔)



関谷 七佳ちゃん
平成25年9月26日生
我が家で初の女の子！皆に愛されてスクスク育ててネ！
(家族代表者名：関谷 辰也)



岩間 陸虎くん
平成25年9月28日生
いつもニコニコ元気に遊んでます！！
(家族代表者名：岩間 幸八)



里館 璃乃ちゃん
平成25年10月10日生
食いしん坊で、いたずらっ子です。姉ちゃん、兄ちゃんと仲良くね。
(家族代表者名：里館 崇宏)



三浦 唯楓ちゃん
平成25年10月29日生
やんちゃでちょっと泣き虫なゆいちゃんです。
(家族代表者名：三浦 一樹)



川原 理央くん
平成25年10月30日生
大好きなお兄ちゃんを泣かせることもあるけど、兄弟仲良く遊んでね。
(家族代表者名：川原 孝行)

PHOTO まちかど



「旧赤浜小学校の校庭にあったカキの木が津波で被災し、赤浜地区の別の場所に移植されました。卒業生が植樹したカキの木だそうです。移植された2本のうち、1本が今年、実をつけました。津波に打ち勝ったカキの木です」【11月11日、伊藤陽子さん撮影】



「小槌川沿いの道路を自転車で走っていたら、道路の白線の上にあったカマキリを見つけました。おながが大きく卵を産む前のメスのようでした。カマキリの目にピントをあわせました。撮影後、草むらの中に隠れてしまいました」【10月25日、三浦寧史さん撮影】

町長随想

⑬ 慌ただしい師走

今年一年を振り返って見たい。国内的には、集団的自衛権、消費税8%、消滅可能性自治体、広島市の土砂災害御嶽山の噴火、デング熱、エボラ出血熱、県議会議員号泣会見、危険ドラッグ、アベノミクス、ごきげんようやマッサンなど、流行語大賞にも選ばれるような事柄があった。そして国民栄誉賞の話も聞かせる高倉健さんの突然の訃報。今年も色々なことがあった。

町の復興最前線に目を向けると、住民を主体とした「大槌の心意気を示す」第2期復興計画がこの4月から始まった。諸課題の中で、特に懸案であった土地取得に関連して土地収用法の柔軟な適用をめざして法が改正された。遅れはしたが、大槌町から要望した結果だった。

ハード的には、土地区画整理事業、防災集団移転促進事業や災害公営住宅整備事業のほか、悲願であった「三枚堂・大ケ口トンネル」の基礎調査、県立大槌病院、大槌消防署、源水大橋や仮設グラウンドの整備、そして三度目の入札でやっとめどがついた小中一貫校建設など、数多くの事業に取り組んだ。新町地区と安渡地区の産業集積地の整備などにより企業誘致が進んだ。新町地区の産業集積地の供用開始は被災3県で初めてとなった。

ソフト事業では、「元氣・活いき大槌21プラン」「障がい福祉プラン（基本計画）」を策定したほか、「おおつち型地域包括ケア」の構築や平成27年度から始まる「第6期老人福祉計画・介護保険事業計画」「子ども・子育て支援事業計画」の策定を進めている。

震災により、サケの稚魚の放流が途絶え、帰郷率が心配されている中、さけます第2ふ化場が完成した。安定的な漁獲をめざし、新巻鮭の発祥の地として再出発した。震災前、町の冬の風物詩となっていた軒先に干された新巻鮭が目につかぬ。懐かしい師走を思い出す。

さて今年の漢字や流行語大賞は？ それより気になるのが衆議院議員総選挙後の国づくりの行方である。年月が明けると、様々な諸課題が待ち受けている。歳月人を待たず。

碓川豊



城山の風

発行：大槌町教育委員会 第82号 26.12.5
 岩手県上閉伊郡大槌町小槌32金崎126 Tel 42-6100

教育行政基本理念

町づくりは
 人づくりにあり
 人づくりは
 教育にあり

命を守る学習／吉里吉里小・中

地域と学校が一体の防災教育

吉里吉里小学校と吉里吉里中学校では、東日本大震災の教訓から、防災に対する意識を高めようと10月28日から31日を防災週間と位置づけ、様々な取り組みを行いました。この取り組みは、吉里吉里小中一貫教育を目指し、小中合同で行われました。

防災週間の重点目標

- 自然現象と自然災害の仕組みについて理解する
- 地震や津波から身を護る方法を理解し実践できる
- 応急手当の意義を理解し実践できる
- 小中合同避難訓練を行う

〈主な取り組み〉

◇10月28日(火)

防災週間の取り組みを行うにあたっての心構えやリラクゼーションの授業。

災害に対しての不安感を持つ生徒への指導を吉永スクールカウンセラーが行う。

◇10月29日(水)

「自分の命を守る」をテーマに自然災害のメカニズムと対処法の学習を慶應義塾大学環境情報学部の大木聖子先生と学生たち一緒に行いました。

各学年生活班でのワークショップでは、「災害に対する備え、心構えをしっかりとしておくことが大切」などの意見が出されました。

大木先生からは、「いつ災害が発生するかわからない。明日起こるかもしれない。自分の命は自分で守る

知識と技能をしっかりと身に付けること、また、防災教育で学んだことを家庭や地域に広げてほしい」とのアドバイスがありました。

◇10月30日(木)

「他の命を守る」ことをテーマに、応急



手当の実際を学びました。指導に当たったのは日本赤十字社の指導員の皆さんで、生徒たちは初めての体験である心肺蘇生法とAED、包帯法に取り組みました。

この実習をとおり、災害で傷病者が出た場合、自ら行動しなければ傷病者の命を救うことができないことを実感しました。

◇10月31日(金)

小中合同避難訓練の実施。

登校途中の地震、津波を想定した訓練で、サイレンにより災害発生を認知し、防災無線の情報から避難場所を自分たちで判断し、迅速で安全に避難しました。

また、避難終了後、中学生が小学生を指導し、人員の確認や名簿作成をするなど、避難所の運営に関わる取り組みも盛り込まれました。

教育委員会定例会レポート(10月)

10月23日開催された定例会では、議案、報告それぞれ1件について審議されました。

【議案第23号】

大槌町社会教育委員の委嘱について

・社会教育委員の「大槌町PTA連合会長」の交代に伴い、大槌町社会教育委員に関する条例の規定により新委員を委嘱するものです。

◇新委員 芳賀 新氏(大槌町PTA連合会長)

【報告】

教育費関係10月補正予算の概要について

・一貫教育校建設の3度目に向け、事業費を見直すとともに、併せて予定工期を変更するものです。
 〈概算事業費：工事管理費を含む〉
 62億2668万円

太巻き最高!!

11月6日(木)、千葉県市原市から「大槌町の子どもたちを支援する会(代表：志村淳子さん)」の皆さんが大槌町を訪れ、子どもたちに郷土料理「千葉太巻き祭り寿司」の作り方を教えてくださいました。

会場の「子どもセンター」には30名ほどの子どもたちが集まり、悪戦苦闘しながらも、支援する会の皆さんとともに楽しそうに太巻き寿司を作っていました。

できあがったユニークな巻き寿司。みんなで食べた味は格別のようなでした。



小中一貫教育だより

校舎建設へ本格スタート

(仮称)おおつち学園小中一貫教育校

入札不落が続いた(仮称)おおつち学園小中一貫教育校建設工事の3度目の入札が行われ、建設業者が決まりました。

落札したのは、大阪市に本店を置く銭高組で、落札額は53億8704万円でした。

今後、12月開催の町議会定例会で関連議案の議決を経て、27年1月頃に着工、28年9月の完成を目指します。

〈施設概要〉

- *建築面積 8,298㎡
- 校舎棟 8,874㎡



- 体育館 3,600㎡
- プール棟 199㎡
- 駐輪場棟 375㎡

*構造

- 校舎棟：木造+一部鉄筋コンクリート造
- 体育館：木造+一部鉄筋コンクリート造
- プール棟：木造
- 駐輪場棟：上部木造+下部鉄筋コンクリート造

まちのお知らせ

平成27年大槌町新年交賀会の開催のお知らせ

新年を迎えるにあたり、復興への誓いを新たにするとともに、町民一丸となって復興に取り組んでいくための交流の場として、大槌町新年交賀会実行委員会（実行委員長・菊池良一大槌商工会長、構成13団体）主催による平成27年大槌町新年交賀会を下記のとおり開催します。

- 日時 平成27年1月5日（月）15：00～
- 場所 三陸花ホテルはまぎく
- 会費 1人3,000円
- 申込方法 会費を添えて事前にお申し込みください。申し込みの締め切りは、平成26年12月25日（木）まで。なお、会場の都合により先着200名で締め切らせていただきます。
- 申込場所（チケット販売場所） 役場総務課総務班（庁舎2階）、大槌商工会
- ☎大槌町新年交賀会実行委員会事務局（役場総務課）Tel 0193-42-8710

特定健診等各種健診結果説明会を実施します

町は、11月9日～11日に実施した特定健診等各種健康診査を受診した人を対象に下記の日程で結果説明会を実施します。数値の見方や日頃の健康状態で気になることなど、保健師や管理栄養士が個別に対応しますので、ご参加ください。

対象者には、12月上旬に郵便で、「健診結果」を送付しますので、内容をご確認いただき参加してください。

■日程

日程	会場	受付時間
12月18日（木）	吉里吉里地区体育館	9：00～10：00
	大槌町役場中会議室	13：00～14：00
12月19日（金）	かみよ稲穂館	9：00～10：00

- 持ち物 健診結果（12月上旬送付を予定）
健康手帳、おくすり手帳など（現在使用しているものがある人）

☎町民課 国保年金班 Tel 0193-42-8713 保健福祉課 健康推進班 Tel 0193-42-8715

ママたちのお茶っこ「まんまるサロン」好評開催中です

手作りお菓子とハーブティーでほっこりおしゃべり。アロマのハンドマッサージでゆったりリラックス。お子さん連れ大歓迎のお茶っこサロンです。岩手県助産師会の助産師がお待ちしています。お気軽にお越しください。

- 日時 12月24日（水）10：30～12：30
- 場所 上町ふれあいセンター
- 参加費 500円（事前の申し込み不要です）
- 対象 子育て中のママ、妊婦さん、妊娠を考えている方も大歓迎！
- 内容 赤ちゃんの体重測定、子育て相談、母乳やミルク・離乳食の相談、ママ同士の交流、女性のこころとからだに関する悩み相談など
- 共催 いわて助産師による復興支援まんまる、AMDA大槌健康サポートセンター
- ☎AMDA大槌健康サポートセンター Tel 0193-55-5421

町内各地の放射線量についてお知らせします

町内の放射線量測定結果についてお知らせします。11月21日に測定した結果は下の表のとおりです。なお、国の除染基準は0.23 毎時マイクロシーベルトです。

測定地点	放射線量	測定地点	放射線量
小鎚小学校仮設団地	0.060	大槌第5仮設団地(和野橋下流)	0.066
小鎚仮設団地(佐野屋球場)	0.066	金沢小グランド	0.068
大槌町役場	0.064	桜木町中央公園	0.068
安渡第2仮設住宅(旧小学校)	0.062	源水(屋敷前)	0.068
赤浜小学校グラウンド	0.062	大ケ口公園	0.071
吉里吉里中学校仮設団地	0.068	沢山地区(高森団地)	0.068
吉里吉里第5仮設団地(駅公園)	0.068	沢山地区(郵便局脇)	0.068
吉里吉里第2仮設団地(浪板)	0.073	花輪田定住促進住宅裏	0.066
大槌第7仮設団地(大槌橋下流)	0.062	測定地点平均値	0.066

おめでた・おくやみ（敬称略）

10月15日～11月15日分

【出生】

佐々木 か華 のん暖（健・須賀町）
関谷 あお蒼 ぼ羽（信人・吉里吉里三）
三浦 な那 お緒（政人・沢山）
阿部 えい瑛 た大（大敬・下屋敷）
三浦 りま涼 た汰（圭太・大ケ口一）
金崎 えい大 た聖（大樹・白沢）

【婚姻】

〔東梅貴弘（吉里吉里四）
藤原麻奈（白沢）〕

【死亡】

田中喜右エ門（89・吉里吉里三）10/19
柏崎ヨシエ（97・須賀町）10/25
越田賢一（72・吉里吉里三）10/27
坂本一典（77・沢山）10/22
三浦スミ（69・大ケ口一）10/28
六串チヤ（77・蔵打直）11/2
小笠原トヨ（93・栄町）11/3
乙津シマ（75・大ケ口二）11/4
三浦澄子（78・上町）11/6
平野ミヤ（91・吉里吉里三）11/6
小國昌三（83・沢山）11/9
倉本久太郎（88・吉里吉里一）11/15

林業退職金共済制度（林退共）からのお知らせ

林業の仕事をしていたことがありませんか？林退共制度に加入していたが、退職金をまだ受け取っていない方を探しています。

以前、林業の仕事をしていたが、ご自身が林退共へ加入していたか分からない方についてもお調べします。

また、罹災された共済契約者および被共済者の皆さまに対し、各種手続き（共済手帳の紛失、退職金の請求など）の必要が生じた場合はできうる限りの範囲において速やかに対応したいと考えておりますので、最寄りの支部又は本部へお問い合わせ、ご相談下さい。

☎独立行政法人勤労者退職金共済機構
林業退職金共済事業本部
Tel 03-6731-2887
FAX 03-6731-2890

人権相談について

身のまわりで起きた人権問題（いじめ、虐待、家庭内暴力、離婚、扶養、相続問題、近隣関係、セクハラ、借金問題、その他困りごと）について、法務大臣から委嘱を受けた人権擁護委員が相談に応じます。

- 日時 12月19日（金）10：00～12：00
- 会場 大槌町役場1階 相談室2
- ☎町民課町民生活班 Tel 0193-42-8713

大槌町地域子育て支援センター「かりん」からのお知らせ

大槌町地域子育て支援センター「かりん」では、子育て親子の交流の場の提供や、子育て家庭への育児支援を行っています。12月の行事は下記のとおりです。お気軽にご参加ください。

「ひだまり広場」

- 日時 12月4日（木）10：00～11：30
- 対象 未就園児とその保護者（祖父母の方も可）
- 内容 園庭を開放します。お外で元気いっぱい遊びましょう。アンパンマンやドラえもんが待っています。天気次第で、お部屋でお話会になります。

「ひよこくらぶ」

- 日時 12月11日（木）10：00～11：30
- 対象 0歳～2歳半くらいまでのお子さんとその保護者（祖父母の方も可）
- 内容 保健師さん栄養士さんをお招きします。お子さんの身体測定・発育相談・子育て相談・離乳食・幼児食・授乳・ミルクの相談など気になることがあれば、ぜひ相談にいらしてください。遊びにくるだけでももちろんOKです。

「げんきっこくらぶ」

- 日時 12月18日（木）10：00～11：30
- 対象 未就園児とその保護者（祖父母の方も可）
- 内容 親子遊びや季節の行事に触れたりして楽しみます。今回はみんなで「クリスマス会」を楽しみましょう。予約制になります。

「臨床心理士相談」「かりんカフェ」

- 日時 12月22日（月）9：30～12：00、13：00～14：30
- 対象 未就園児とその保護者（祖父母の方も可）
- 内容 かりんカフェでは、温かい飲み物とお菓子を用意しています。毎日忙しいママさんのための「かりんカフェ」で一息つきましょ。臨床心理士の土屋先生もお招きしますので育児や心の悩み、家庭の悩みなど一人で抱え込まないで、是非相談にいらしてください。

◆のびのび広場（あそび・つどいの広場）◆

- 日時 月曜日～金曜日（祝日除く）
9：30～12：00、13：00～16：00
- 対象 未就学児とその保護者（祖父母も可）
みんなが自由に集える場。子育ては一人じゃない。みんなで育てる共有の場。そんなやさしい空間が「かりん」です。いつでもあそびに来てください。

※12月25日（木）は午前中お休みです。
※12月27日（土）～1月4日（日）は「かりん」はお休みです。

☎大槌町地域子育て支援センター「かりん」
Tel 0193-42-2570

大槌町カレンダー 12月6日（土）～1月5日（月）

日付	大槌町内イベント	大槌病院外来
6（土）		完全休診（急患受付なし）
7（日）		完全休診（急患受付なし）
8（月）		午前：内科、整形外科、眼科 午後：内科
9（火）		午前：内科、外科、皮膚科 午後：内科、皮膚科
10（水）		午前：内科、皮膚科 午後：内科
11（木）	心配ごと相談 元気活いき運動教室	午前：内科、外科 午後：内科
12（金）	3歳児健康診査	午前：内科 午後：内科
13（土）		完全休診（急患受付なし）
14（日）		完全休診（急患受付なし）
15（月）		午前：内科、眼科 午後：内科、整形外科
16（火）	水痘予防接種	午前：内科、皮膚科 午後：内科、皮膚科
17（水）	12ヵ月児相談	午前：内科、整形外科、皮膚科 午後：内科
18（木）	特定健診各種検診説明会 さわやかストレッチ教室	午前：内科、外科 午後：内科
19（金）	行政相談、人権相談 特定健診各種検診説明会 四種混合予防接種	午前：内科 午後：内科
20（土）	地域ケアシンポジウム	完全休診（急患受付なし）
21（日）		完全休診（急患受付なし）

日付	大槌町内イベント	大槌病院外来
22（月）		午前：内科、整形外科、眼科 午後：内科
23（火）		完全休診（急患受付なし）
24（水）	まんまるサロン	午前：内科、皮膚科 午後：内科、皮膚科
25（木）	元気活いき運動教室	午前：内科、外科 午後：内科
26（金）		午前：内科 午後：内科
27（土）		完全休診（急患受付なし）
28（日）		完全休診（急患受付なし）
29（月）		午前：内科 午後：内科
30（火）		完全休診（急患受付なし）
31（水）		完全休診（急患受付なし）

1月		
1（木）		完全休診（急患受付なし）
2（金）		完全休診（急患受付なし）
3（土）		完全休診（急患受付なし）
4（日）		完全休診（急患受付なし）
5（月）	大槌町新年交賀会	

※大槌病院外来日程は都合により変更となる場合があります。
※心配ごと相談は、大槌町社会福祉協議会で実施しています。相談内容についてはお問い合わせください。
☎大槌町社会福祉協議会 Tel 0193-41-1511

大槌学のすゝめ

②「大槌港灯台」今昔と「虎舞」異聞



写真は震災前の蓬莱島。

平成24(2012)年12月13日、新しい灯台の点灯式。赤浜在住の岩間みな子さんのデザイン。灯台の光源の部分は太陽、胴体の部分は砂時計をイメージ。赤浜小学校6年生(当時)の黒沢宏太君が書いた「大槌港灯台」の表札も。

点灯50周年の記念式典で、当時の山崎三雄町長は『この大槌港灯台があることで、漁業者の安全が保たれ、また水産業の繁栄を支えてきたこともまぎれもない事実であります。こうしたことが、あの平成9(1997)年、天皇后両陛下の御臨席のもと開催された「第17回全国豊かな海づくり大会」を、我が大槌町にもたらしたと言っても過言ではありません。このことはまさに千載一遇。これまで慣れ親しんできた灯台への感謝を、町民とともに思いを新たにするとともに、その存在の意義を未来へ問う好機であります』と。

熱狂的な、といえば、阪神タイガースファン。勝つても負けても叱咤激励。平成26(2014)年の日本シリーズでは、初戦は勝利したもののまさかの四連敗。このときの叱責も半端じゃなくて。おっと、虎ファンから本気度の譴責が。

さて、人が虎に「へんしーん」する時、あります。酒を呑んで虎になる、周りにいませんんか？

師走。この時期の寄席、大いに演じられるのが「芝浜」。大晦日の夜。三年断つていた酒を女房から勧められ、呑もうと杯を口まで持つていく、けれど、「また夢になるといけねえ」と……。

朝早く起こされた魚屋の勝五郎、魚の仕入れに芝浜へ。一時も早く起こされ、むしやくしゃやしていると、渚で大金の入った革の財布を。慌てて長屋に戻り、根っからの呑兵衛は浮かれて酒盛り、そして泥酔。機転を利かせた女房が「財布を拾ったのは夢」と詐り、勝五郎は仕事に勢を出し、儉しく三年経過。女房は大金をお上に届け出るも、落とし主が現れず、大金は届け出た女房のもとに。借金取りが来ないようになった大晦日、「騙して悪かった」と革の財布を出し、そして女房は酒を。

浜は浜でも、「芝浜」ではなく、赤浜。

平成25(2013)年8月8日。蓬莱島は、町の記念物(種別・名勝)に指定。

この蓬莱島にある大槌港灯台。昭和28(1953)年12月20日に初点。それから50周年の平成15(2003)年、各種イベントを開催。50周年記念式典とミュージックチャイム鳴らし初め式は、その年の11月1日に赤浜小学校で。その11月1日は「灯台記念日」。日本最初の洋式灯台は、明治元(1868)年に東京湾の観音崎に設置。この日に着工されたことを記念し、海上保安庁が昭和24

(1949)年に制定。

戦後、当時の漁業協同組合を中心として、蓬莱島への灯台設置を働きかけ、昭和28年の初点を迎えたことされています。以来、昭和から平成の今日に至るまで、大槌港灯台は、湾内を行き交う漁船と漁民の生業を見つめてきました。また、蓬莱島に祀られている「弁財天」は、豊穡の守護神として、漁業者のみならず地域住民の信仰を集めてきました。

この赤浜に、昭和49(1974)年、「赤浜虎舞」が結成。その後、弁財天に因み「陸中弁財天虎舞」へ改称。

虎は虎でも、先の広報9月5日号の「大槌学のすゝめ⑦虎舞の起源」に誤り。「釜石の虎舞に和藤内がない」ではなく、現状を確認するよう、釜石の方から適切な指摘を受けました。「和藤内、あります」と訂正させていただきます、併せて、軽佻浮薄、智識浅短局量偏小、ご容赦願います。所蔵書籍も藻屑と化し、尋ねるも行き着かず。拙子の偏執による誤認か、誤認か否か、聡と確かめたいもの。幾許かの時間を頂戴し、数多存在する「起源」説を後に供覧陳ずる機会を得たいと冀望します。

ご上洛、京都のこと。上七軒、祇園甲部、祇園東、嶋原、先斗町、宮川町の六つの花街、これらを総称して京都の六花街と。平成26(2014)年、京都市は「京都をつなぐ無形文化遺産」に「京・花街の文化」を選定しています。この花街で、舞妓さんのお茶屋遊びの時に歌われるのが「和藤内」。「拳」と呼ばれるじゃんけんのような遊び。

千里走るよな 敷の中を 皆さん覗いてごろうじませ
金の鉢巻襷に 和藤内がえんやらやと 捕らえし獣は
とらとーらとーらとーら

(大槌町教育委員会事務局生涯学習課長 佐々木健)

編集後記

▼11月2日に行われた「大槌町民大運動会」では、町民の方はもとより、町の復興に関わる団体の方も多く参加していました。震災がなければ交わることがなかった人らが、一丸となって競技に汗を流す姿は、復興に向かって進んでいる今の大槌と重なって見えました。(台野) ▼「盛り土」とは、単純に土を盛ることと考えていました。しかし、盛り土宅地ができあがるまでに、多くの手間がかけられていることを知りました。「盛り土材」「余盛り」「締め固め度」「地盤支持力」という用語も初めて聞く言葉でした。おそらく、長い年月を経て開発されてきた技術なのでしょう。今月号の「復興通信」では、その盛り土宅地の造成方法について都市整備課の協力を得て、図解しています。ご一読を。(但木)